



スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)防除剤

スクミンベイト®3

磷酸第二鉄粒剤

POINT
01 有機JASS認証対応

POINT
02 WCS用稲使用可

POINT
03 ドローンで散布できる



スクミリンゴガイ
(ジャンボタニシ)

POINT

ここがおすすめ!!

- ☑ 天然物由来の有効成分
- ☑ 収穫前日数・使用回数 制限なし
- ☑ 特別栽培農産物の使用回数にカウントされない
- ☑ 食害防止と密度低下の二つの効果



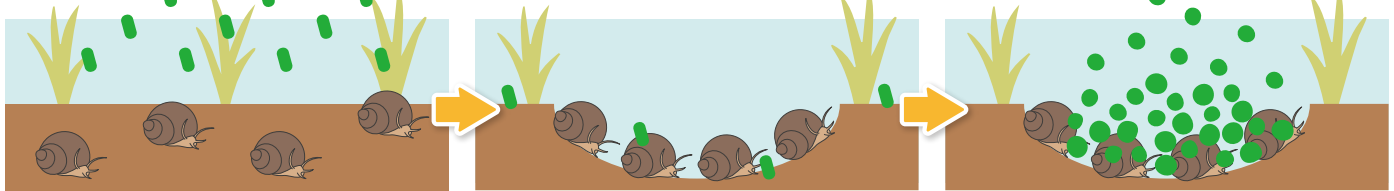
スクミンベイト[®]3

環境負荷の少ない スクミリンゴガイ防除剤

■有効成分：燐酸第二鉄水和物3.0%（鉄として0.87%） ■性状：淡緑色粒状 ■規格：2kg×8袋

スクミンベイト3の使用量は2-8kg/10a!だから・・・

(使用例)



① 移植前後に4kg/10aを全面に散布

② 深水部分（水口、代かき時のタイヤ痕）にスクミリンゴガイが密集していたら

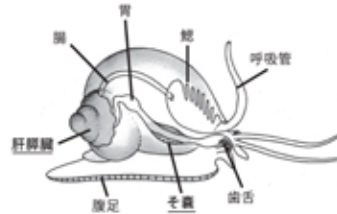
③ 密集部分に再度4kg/10aまで追加散布できます

上手な使い方と留意点

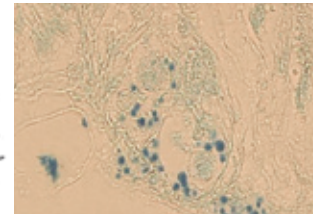
- スクミリンゴガイの活動が活発（水温15℃以上が目安）になってきたら処理適期です。
- スクミンベイト3はスクミリンゴガイへの高い誘引性がありますが、水田全体に均一に散布するとより効果が発揮されます。
- 手散布、粒剤散布機、無人ヘリコプター、ドローンなど様々な方法で散布できます。
- 表層剥離の発生しやすい圃場では、対策後、本剤を使用してください（効果低下）。
- 本剤は摂食により効果を発揮する為、未発生や低温時の薬剤摂食の機会や量が減った状態の散布では十分な効果が発揮できない場合があります。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて水深3~5cmの湛水状態にし、散布後少なくとも3~4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

効果のしくみ

スクミンベイト3の有効成分「燐酸第二鉄」は、スクミリンゴガイの摂食により消化器官の組織内に遊離鉄として取り込まれ、消化器官に病理的变化を引き起こします。燐酸第二鉄を摂食したスクミリンゴガイは食欲が低下し、稲への食害ができなくなります。



スクミリンゴガイの構造



細胞内に取りこまれた遊離鉄

適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	燐酸第二鉄を含む農薬の総使用回数
稲	スクミリンゴガイ	2-8kg/10a	発生時	—	散布	—
れんこん		4kg/10a			散布	
			無人航空機による散布			
			無人航空機による散布			

2023年11月8日付登録内容

使用上の注意事項

- 本剤は湛水状態で均一に散布してください。
- 本剤を無人航空機による散布をする場合は、次のことに注意してください。
 - 1) 散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。2) 散布に当たっては散布機種種に適合した散布装置を使用してください。3) 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整し、飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布してください。4) できるだけ風の弱い時間に散布してください。5) 散布薬剤の飛散によって他の動植物等へ影響を与えないよう散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。6) 薬剤が水源池、飲料用水、養殖池、養魚田などに飛散、流入しないように十分注意してください。7) 使用後の機体散布装置は十分洗浄し、タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤は小児の手の届く所にはおかないでください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

本印刷物は2024年4月現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例にあてはまるものではありません。

®スクミンベイトはドイツ・W.Neudorff社の登録商標